

2009 年度事業報告

1. 会員数の動向 (2010 年 3 月 31 日現在)

() は前年比

会員数合計	3,892 名 (-36 名)
通常会員	1,086 (- 1)
一般	A	711 (+24)
	B	236 (- 5)
学生	A	66 (-15)
	B	8 (- 4)
高年	A	60 (- 1)
	B	5 (±0)
特別会員	2,481 名 (-26 名)
一般	A	1,830 (- 2)
	B	353 (-14)
	C	22 (- 4)
	D	3 (- 1)
学生	A	171 (- 9)
	B	15 (- 1)
高年	A	76 (+ 4)
	B	11 (+ 1)
団体会員	278 団体 (-7 団体)
団体	A	91 (- 2)
	B	106 (- 5)
	C	81 (±0)
賛助会員	32 団体 (-1 団体)
名誉会員	15 名 (- 1 名)

2. 機関誌等の刊行

- (1) 天気第 56 巻 4 号～第 57 巻 3 号、12 冊 (1,030 頁、昨年度より 30 頁増)、各号 4,100 部印刷、電子ジャーナル版公開、
- (2) 気象集誌第 87 巻 2 号～第 88 巻 1 号、特別号 87 巻 A (衛星降水計測)、7 冊 (1,364 頁、113 頁増)、各号 1,150 部印刷、電子ジャーナル版公開
- (3) 英文レター誌 SOLA 第 5 巻～第 6 巻
第 5 巻 37 編 147 頁
第 6 巻 15 編 60 頁
- (4) 気象研究ノート
ア 220 号「気象学における水安定同位体比の利用」(2009 年 11 月) 128 頁、1,300 部

(5) 大会予稿集

- ア 春季大会 (95 号) 405 頁 1,500 部印刷
イ 秋季大会 (96 号) 521 頁 1,400 部印刷

3. 会議等の開催

(1) 総会

- 2009 年 5 月 29 日、つくば国際会議場
(出席者 90 名、総会参加票 598 名、計 688 名)
ア 2008 年度事業報告・決算報告、2009 年度事業計画・予算が承認された。
イ 第 35 期理事の辞任に伴う後任候補者が報告され、提案のとおり承認された。
ウ 中長期ビジョンを作成したことが報告された。また公益法人への移行について、現状および今後の対処方針等が報告された。
エ 日本気象学会における声明等の取り扱いについて制定したこと、この基準に則って要請文を提出したことが報告された。

(2) 理事会

- 第 35 期 (第 6 回) 2009 年 5 月 28 日、つくば
第 35 期 (第 7 回) 2009 年 7 月 10 日、書面
第 35 期 (第 8 回) 2009 年 9 月 15 日、東京
第 35 期 (第 9 回) 2009 年 11 月 25 日、福岡
第 35 期 (第 10 回) 2010 年 3 月 11 日、東京

(3) 常任理事会

- 第 35 期 (第 9 回) 2009 年 4 月 16 日、東京
第 35 期 (第 10 回) 2009 年 5 月 28 日、つくば
第 35 期 (第 11 回) 2009 年 6 月 24 日、東京
第 35 期 (第 12 回) 2009 年 7 月 17 日、東京
第 35 期 (第 13 回) 2009 年 9 月 15 日、東京

- 第 35 期 (第 14 回) 2009 年 10 月 20 日、東京
第 35 期 (第 15 回) 2009 年 11 月 25 日、福岡
第 35 期 (第 16 回) 2009 年 12 月 17 日、東京
第 35 期 (第 17 回) 2010 年 1 月 19 日、東京
第 35 期 (第 18 回) 2010 年 2 月 25 日、東京
第 35 期 (第 19 回) 2010 年 3 月 11 日、東京

(4) 評議員会

- 第 35 期 (第 2 回) 2010 年 3 月 11 日
会場：京橋ビル スタンダード会議室 (東京)

4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会 2009年5月28日～31日
会場：つくば国際会議場
(担当：筑波大学生命環境科学研究科、宇宙航空研究開発機構、国立環境研究所、産業技術総合研究所、農業環境技術研究所、防災科学技術研究所)
シンポジウム：地球温暖化に関する科学的根拠の解明と脆弱性評価のさらなる連携に向けて
- (2) 秋季大会 2009年11月25日～27日
会場：アクロス福岡 (担当：九州支部)
シンポジウム：東アジアの大気環境
- (3) 研究連絡会
- ア メソ気象研究連絡会
福岡 2009年11月24日
- イ オゾン研究連絡会
つくば 2009年5月30日
福岡 2009年11月25日
- ウ 極域・寒冷域研究連絡会
つくば 2009年5月28日
福岡 2009年11月25日
- エ 非静力学数値モデル研究連絡会
弘前 2009年9月24-25日
- オ 天気予報研究連絡会
東京 2010年2月5日
- カ 航空気象研究連絡会
東京 2010年2月10日
- キ 統合的陸域圏研究連絡会
つくば 2009年5月30日
福岡 2009年11月25日
- ク 惑星大気研究連絡会
つくば 2009年5月27日
- ケ 気象教育研究連絡会
つくば 2009年5月30日
- コ 長期予報研究連絡会
東京 2009年6月26日
- (4) 第21回日本気象学会夏期特別セミナー
(若手会 夏の学校)
東京 2009年7月30-8月1日
- (5) 他学会との共催等
- ア 第58回理論応用力学講演会
2009年6月9-11日

イ 第46回アイソトープ・放射線研究発表会
2009年7月1-3日

ウ 第26回エアロゾル科学・技術研究討論会
2009年8月19-21日

5. 研究業績の表彰

- (1) 日本気象学会賞
- 中西 幹郎 防衛大学地球海洋学科
新野 宏 東京大学海洋研究所
- (2) 藤原賞
- 秋元 肇 海洋研究開発機構地球環境フロンティア研究センター
深尾昌一郎 京都大学名誉教授、福井工業大学工学部
- (3) 山本・正野論文賞
- 柳瀬 亘 東京大学海洋研究所
宮崎 雄三 北海道大学低温科学研究所
- (4) 堀内賞
- 藤井 理行 国立極地研究所
本山 秀明 国立極地研究所
渡邊 興亞 総合研究大学院大学
三枝 信子 国立環境研究所
- (5) 奨励賞
- 飯澤 功 京都市立堀川高等学校
吉川 契子 静岡県立静岡中央高等学校
荒川 知子 田園調布学園中等部・高等部

6. 支部活動

- (1) 北海道支部
- 研究発表会 (札幌) 2009年6月5日
(札幌) 2009年12月21-22日
- (2) 東北支部
- 支部研究会 (仙台) 2009年12月11日
- (3) 中部支部
- ア 支部研究会 (津) 2009年12月8-9日
イ 長野県の気象研究発表・交流会
(長野) 2009年10月3日
- (4) 関西支部
- ア 年会 (大阪) 2009年6月27日
イ 例会
- 中国地区 (岡山) 2009年12月19日
四国地区 (高松) 2009年12月11日
近畿地区 (神戸) 2010年2月23日

- (5)九州支部
支部発表会 (福岡) 2010年 3月 6日
- (6)沖縄支部
支部研究会 (那覇) 2009年 11月 26-27日
(西原) 2010年 3月 9日

- (9)沖縄支部
防災気象講演会 (那覇) 2010年 1月 21日
離島お天気教室 (南城) 2010年 2月 10日
(うるま) 2010年 2月 10日
(粟国) 2010年 2月 24-25日

7. 普及活動

- (1)公開気象講演会
数値予報の過去・現在・未来
(つくば) 2009年 5月 31日
- (2)第43回夏季大学
「新しい気象学」—顕著現象の解析—
(東京:気象庁) 2009年 8月 1-2日
- (3)サイエンスカフェ
第17回 (東京) 2009年 6月 11日
第18回 (東京) 2009年 8月 6日
第19回 (東京) 2009年 10月 5日
第20回 (東京) 2010年 3月 18日
- (4)北海道支部
ア 第27回気象講座「新しい気象」
(札幌) 2009年 7月 27-28日
イ 気象講演会—網走地方気象台と共催
(網走) 2009年 12月 5日
「網走地方気象台創立120周年記念講演」
- (5)東北支部
気象講演会 (大崎) 2009年 10月 31日
—温暖化時代のヤマセはどうなる?—
- (6)中部支部
第15回公開気象講座
(名古屋) 2009年 8月 25日
「台風研究の最前線」
- (7)関西支部
ア 第31回夏季大学—集中豪雨とメソ気象—
(京都) 2009年 8月 29日
イ 第3回サイエンスカフェ in 関西
(大阪) 2009年 9月 5日
- (8)九州支部
ア 気象教室—局地的大雨—
(福岡) 2009年 8月 29日
イ サイエンスカフェ in 九州
(福岡) 2010年 2月 28日

8. 国際学術交流活動

- 第4回日本・中国・韓国気象学会共催国際会議
2009年 11月 8日-10日
会場:つくば国際会議場
参加者数 311名 (海外からの参加者数 123名:
中国 57名、韓国 57名、その他 7名)。招待講
演者 5名による講演、口頭発表 186件、ポス
ター発表 82件、合計 268件の発表が行われた。
また、研究機関等の施設見学を実施した。

9. 電子情報関連

- (1)学会ホームページ管理運営
(2)メーリングリストの管理運営
(3)日本気象学会刊行物収録DVD刊行

10. 気象研究コンソーシアム

参加研究課題	新規	5 課題
	継続	15 課題
	合計	20 課題

11. 学術関連

- (社)日本気象学会中長期ビジョンを策定し、「天
気」及び日本気象学会ホームページに掲載した。

12. 気象災害関連

- 平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨と今後の監視・
予測に向けて—
メソ気象研究連絡会との共催発表会
(福岡) 2009年 11月 24日